

平成26年3月愛西市議会定例会

平成25年度愛西市補正予算の概要は、次のとおりです。

◎平成25年度愛西市一般会計補正予算(第5号)

【第2表】

繰越明許費では、年度内に支出が終わらない見込みとなりました、民生費・児童福祉費の子ども子育て支援新システム導入事業で 7,938 千円、土木費・道路橋梁費の道路新設改良事業で 7,398 千円をそれぞれ繰り越します。

【歳入】

国・県支出金及び市債については、事業の確定及び決算見込によりそれぞれ計上し、財政調整基金により財源調整しました。

【歳出】

1 総務関係では、

- (1) 一般管理費で、実績見込により郵便料 2,000 千円、行政事務委託料 1,338 千円、文書管理システムの保守委託料及び借上料で 1,594 千円をそれぞれ減額しました。
- (2) 財産管理費で、実績見込により備品購入費 1,500 千円を減額しました。
- (3) 電子計算費で、機器更新等に係る事業費の精査に伴い、電算事務委託料 3,868 千円、システム借上料 3,011 千円を減額し、また、負担金額の確定に伴い、あいち電子自治体推進協議会負担金 593 千円を減額しました。
- (4) ふるさとづくり事業推進費で、実績見込により 8,000 千円を減額し、これに伴う歳入として、ふるさとづくり事業推進基金繰入金を減額しました。
- (5) 災害対策総務費で実績見込みにより、自主防災組織活動補助金 10,000 千円を減額しました。

2 民生関係では、

- (1) 社会福祉総務費で、法改正に伴う障害福祉システムの改修委託料 3,780 千円を計上し、これに伴う歳入として、国庫支出金 1,890 千円を計上しました。また、実績見込みにより災害時要援護者登録確認委託料 1,834 千円、扶助費 16,240 千円を減額し、これに伴う歳入として、国庫支出金 8,120 千円、県支出金 4,060 千円を減額しました。

国民健康保険特別会計繰出金の内、実績見込により出産育児一時金繰出金 2,800 千円、国の算定により財政安定化支援事業繰出金 17,230 千円を減額しました。

後期高齢者医療費で、額の確定に伴い後期高齢者医療特別会計繰出金 8,191 千円の減額を計上し、これに伴う歳入として県負担金 6,143 千円を減額しました。

- (2) 福祉医療費で、実績見込により子ども医療扶助費 30,000 千円を減額し、これに伴う歳入として県補助金 5,000 千円を減額しました。
- (3) 児童福祉総務費で、遺児手当で支払月の変更及び実績見込みにより 7,500 千円を減額しました。また、児童扶養手当で実績見込みにより 8,200 千円を減額し、これに伴う歳入として国庫支出金 2,737 千円を減額しました。
- (4) 児童措置費で、民間保育所運営費で主に市外からの受託園児の減により 19,000 千円を減額し、これに伴う歳入として諸収入の受託事業収入 14,600 千円を減額しました。また児童手当給付費で実績見込みにより 83,000 千円を減額し、これに伴う歳入として国庫支出金 79,500 千円及び県支出金 22,100 千円を減額しました。

3 衛生関係では、

- (1) 予防費で、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨の差し控え等により個別予防接種委託料 35,000 千円、実績見込みによりがん検診委託料 5,000 千円、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成費 2,700 千円を減額しました。
- (2) 母子衛生費で、実績見込みにより妊婦・乳児健康診査委託料 5,000 千円、未熟児養育医療給付費 2,000 千円を減額しました。
- (3) ごみ処理費で、事業費確定に伴い、消耗品費(ごみ袋購入関係)8,000 千円、ごみ収集委託料 12,548 千円を減額しました。

4 農林水産業関係では、

- (1) 農業振興費で、事業費の確定により新規就農総合支援事業費 6,000 千円を減額しました。
- (2) 農業土木費で、事業費の確定により実施設計等委託料 2,000 千円、排水路改修工事 8,400 千円を減額しました。歳入として県補助金 20,799 千円を減額しました。

農業体質強化基盤整備促進事業費確定に伴う歳入として国庫補助金 397 千円を減額し、県補助金 1,547 千円を計上しました。

県営事業の確定に伴う負担金として、地盤沈下対策事業で 23,300 千円、尾張西南部広域営農団地農道整備事業で 2,900 千円、特定農業用管水路等特別対策事業で 9,100 千円をそれぞれ減額しました。

市内土地改良区関係の補助金で、人件費の確定により 1,500 千円を減額し、事業費の確定により 21,142 千円を計上しました。

5 土木関係では、

- (1) 土木総務費で、事業費の確定により道路台帳整備委託料 1,800 千円を減額しました。
- (2) 道路維持費で、事業費の精査により道路維持等管理委託料 5,400 千円、公共嘱託登記事務委託料 6,150 千円、工事請負費 22,000 千円、原材料費 1,000 千円をそれぞれ減額しました。
- (3) 道路新設改良費で、事業費の確定及び精査により測量設計等委託料

9,000千円を減額しました。歳入として社会資本整備総合交付金8,085千円を減額し、道整備交付金7,759千円を計上しました。

- (4) 交通安全対策事業費で、事業費の精査により修繕料3,900千円を減額しました。
- (5) 都市計画総務費で、事業費の精査及び確定により工事請負費18,000千円、公有財産購入費4,000千円、負担金1,000千円、補助金4,400千円、補償費2,000千円をそれぞれ減額し、これに伴う歳入として国庫補助金1,100千円、県補助金1,825千円を減額しました。

6 消防関係では、

- (1) 消防施設費で、事業費の確定により工事請負費で耐震性貯水槽新設工事1,958千円、備品購入費で資機材搬送車1,155千円を減額しました。

7 教育関係では、

- (1) 事業費の確定及び実績見込により、小学校費で、水道料2,500千円、施設修繕工事費70,000千円、準要保護児童就学援助費1,000千円、中学校費で、水道料3,000千円、システム借上料3,000千円、準要保護生徒就学援助費1,000千円、幼稚園費で、幼稚園就園奨励費5,000千円をそれぞれ減額しました。
- (2) 文化会館管理運営事業で、事業費の確定により文化会館修繕工事費3,423千円を減額しました。

◎平成25年度愛西市土地取得特別会計補正予算(第1号)

今年度、先行用地取得の予定が無いため、土地取得に係る費用300,255千円を減額しました。

◎平成25年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

事業勘定の総額で、20,030千円の減額となりました。
 歳入では、一般会計繰入金20,030千円を減額しました。
 歳出では、出産育児一時金4,200千円、介護納付金15,830千円を減額しました。

直営診療施設勘定の総額で、45千円の増額となりました。

歳入では、基金利子45千円を計上しました。

歳出では、基金積立金45千円を計上しました。

◎平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

事業勘定の総額で、8,191千円の減額となりました。

歳入では、一般会計繰入金 8,191 千円を減額しました。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金 8,191 千円を減額しました。

◎平成25年度愛西市介護保険特別会計補正予算(第4号)

保険事業勘定の総額で、68,639 千円の増額となりました。

歳入では、国庫補助金、一般会計繰入金及び繰越金を計上しました。

歳出では、介護保険システム改修委託料として 496 千円、介護保険料の前年度精算及び基金利子分として、基金積立金 69,175 千円を計上しました。

また、サービス事業勘定の総額で、701 千円の増額となりました。

歳入では、サービス収入として 778 千円を計上しました。

歳出では、ケアマネジメント委託料として 701 千円を計上しました。

◎平成25年度愛西市農業集落排水事業等特別会計補正予算(第2号)

補正予算総額で、8,480 千円の減額となりました。

歳入では、新規加入工事費等の確定に伴う加入分担金 983 千円、基金預金利子 694 千円、前年度繰越金 27,832 千円を計上し、維持管理分担金 1,890 千円、使用料 1,436 千円、一般会計繰入金 5,473 千円、農業集落排水事業等基金繰入金 29,190 千円を減額しました。

歳出では、新規加入の工事請負費 1,000 千円、前年度繰越金及び基金預金利子の確定に伴い基金積立金 25,536 千円を計上し、新規加入工事費等の確定に伴う管路実施出来高等設計委託料 1,000 千円、滞納者への支払督促等に伴う弁護士委託料 1,500 千円を減額しました。また、処理場等の電気料 4,584 千円、水道料 1,000 千円、修繕料 1,000 千円、施設維持管理委託料 20,306 千円、汚泥清掃委託料 3,626 千円、処理施設等修繕工事費 2,000 千円を減額しました。

◎平成25年度愛西市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

補正予算総額で、34,480 千円の減額となりました。

歳入では、基金預金利子 237 千円、前年度繰越金 40,283 千円を計上し、事業費の精査により、公共下水道事業債 75,000 千円を減額しました。

歳出では、公共下水道事業基金積立金 40,520 千円を計上し、水道管移設等補償費 75,000 千円を減額しました。

繰越明許費では、国の「好循環実現のための経済対策」に伴う補正予算により、社会資本整備総合交付金の追加を受け、公共下水道佐屋 25-1 工区整備事業で 73,500 千円を次年度に繰り越します。